

# MICRO CADAM Helix 2019

## ものづくりの未来とお客様をつなぐ

MICRO CADAMは、  
ものづくりの現場から、人・  
業務・アプリケーションを  
つなぎ、設計業務の効率向上  
に相乗・波及していくための  
「ツナグ」をご提案します

多様化し大きく変化してきている設計環境にあって、MICRO CADAM は変わらず設計者に寄り添い、お客様と「ものづくり」の未来とをつなぐための取り組みをしています。

日本で誕生して30年以上、多くの設計者とともに歩んできた経験を経て、これからも「日本のものづくり」を支え続けます。

### 設計思考を妨げない直感的な操作性

設計者の思考と一致した快適な操作性が MICRO CADAM の魅力です。

『設計したいデザインを図面に描くこと』そして『現場の設計者がツールの使い方に気をとられることなく、ストレスフリーで思い通りに描けること』

私たちは、そんな想いを込めて、MICRO CADAM の特徴である「使いやすい」を追求し、現場のお客様の声に耳を傾けながら環境の変化に対応し、ものづくりに情熱をそそぐ設計者のニーズの数々を反映してきています。



### データ連携による設計環境のシームレス化を実現

製品や業種によって異なりはありますが、設計において3次元CAD向きなのか、2次元CAD向きなのかの分岐点を見極めると、それぞれのメリットを生かし、大幅な設計効率のアップが実現できます。

3D 向き	量産	生産形態	多品種少量生産	2D 向き
	少ない	部品点数	多い	
	大きい	解析工数	小さい	
	高い	曲面形状占有率	低い	
	高価	製品価格	安価	

2次元向きの設計の世界であっても、「ものづくり」の現場をシームレスに連携させるツールとして、MC図面⇔DXF/DWGファイル、MC図面→PDFファイル等の変換オプション・ツールをご提供しています。長く「ものづくり」に携わってきたMICRO CADAMだからこそ、2次元CADの特性を十分に引き出し、高品質で効率的な設計・製造を行う現場のお役に立てます。

# CADs

## お客様の声をすばやく機能に反映

お客様の声をすばやく機能に反映し、リリースアップごとに実装される機能は、従来の操作性を損なわずより設計作業を効率化できます。

リリースアップは年3回。お客様のリクエストをもとに機能を拡張しています。また、サービス契約者専用サイトを通じて、直にお客様の声を取り上げ、お客様からのお問い合わせなどを参考に製品の機能アップに取り組んでいます。

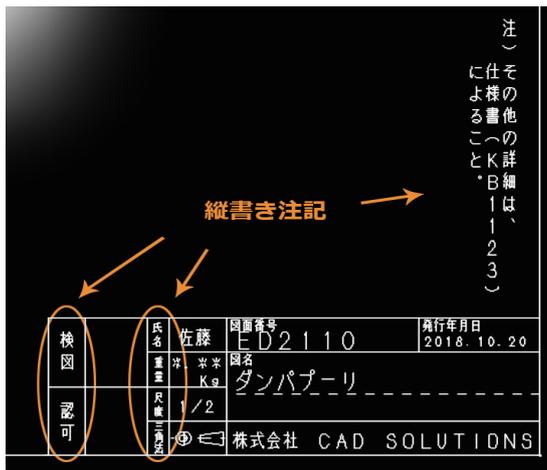
## 最新バージョンで実現した機能

最新バージョン 2019 でもお客様のリクエストにお応えし、設計業務の効率化向上につながる様々な機能拡張を実現しています。

### 縦書き文字の記入

縦書き文字が記入できるようになりました。

特定の注意書きや、表内の横幅の狭い欄に記入する場合に簡単に縦方向に文字を記入できます。



縦書き文字の入力

### 定義点の制限撤廃

スプライン、折れ線スプライン、マルチラインの定義点の制限を撤廃しました。

従来の制限を超える要素は、制限を超えないよう分割して図面を保存することで、下位バージョンで呼び出すことも可能です。設計環境にあわせて環境設定ファイルで自由に設定できます。

### レイヤーの境界情報と高さ情報の保持

レイヤーの隠線処理を行うときに定義する外形線情報と高さ情報を図面に保持できるようになりました。従来は、図面を呼び出すたびに再定義していた手間がなくなり、操作の負担が軽減されます。

## 連携ツールの変換機能強化

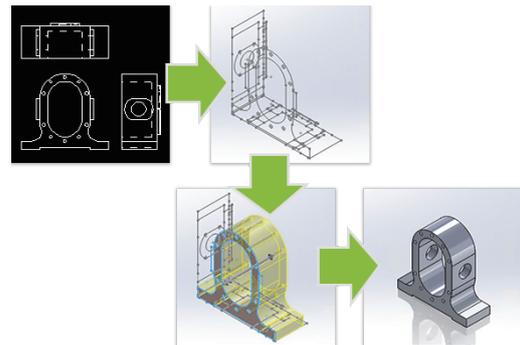
DXF ファイルとの変換機能を強化しました。

- **縦書き文字対応**  
両方向の変換で、縦書き文字に対応しました。
- **プロキシ・オブジェクト対応**  
DXF → MC 変換で、プロキシ・オブジェクトを要素展開して MC 図面の要素に変換できます。
- **変換率の向上**  
DXF → MC 変換で、3D 要素を平面上に投影して作成される要素の変換率を向上しました。

## SOLIDWORKS との連携強化

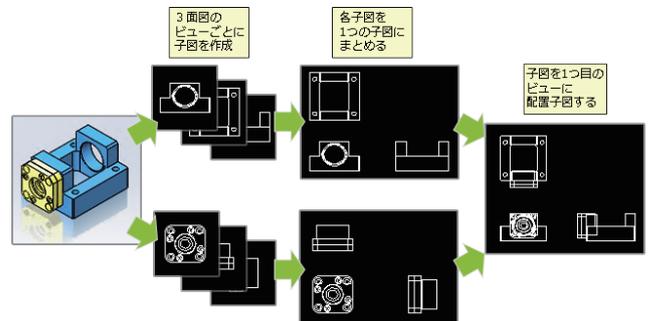
設計環境のシームレス化をより効果的に進めるため、3次元 CAD である SOLIDWORKS とのデータ連携を強化しています。

- **ビュー情報からスケッチをレイアウト**  
MICRO CADAM 図面のビュー情報より、SOLIDWORKS の3平面にスケッチをレイアウトします。



3つのビューから、SOLIDWORKS のそれぞれ平面をレイアウトし、作成されたスケッチからモデルを作成できます。

- **アセンブリデータを部品単位で子図に変換**  
アセンブリを部品ごとに展開して子図に変換し、部品単位で三面図を作成します。



2つの部品から構成されるアセンブリを展開して子図に変換し、三面図を作成します。

- **スプライン変換の精度向上**
- **変換先ビュー数の拡張 (999 ビューまで指定可能)**

他にもお客様のリクエストを基に、様々な機能拡張を行っています。

## MICRO CADAM Helix 支援サービスのメリット

「MICRO CADAM Helix 支援サービス(MCHSサービス)」とは、年額料金のライセンス使用料で最新の MICRO CADAM をご利用いただけるソフトウェア・サブスクリプション & サポート契約です。

### 新しい OS やハードウェアに対応

MCHS サービスではお客様の環境の変化にあわせ、新しい OS やハードウェアに順次対応していますので、今後の設計環境の変化における不安を抱く必要はありません。例えば 2015 年にリリースされた Windows10 には同年 12 月までにサービスの全製品が対応し、同じリリース版でインストール・ナビゲーターも Microsoft Edge に対応しました。さらに、2018 年春には、Windows Server 2016 に対応した製品をリリースしています。

このように、MCHS サービスではテクノロジーの動向を常に注視し、素早く追従しています。

### MICRO CADAM を取り巻く周辺環境

ものづくりの現場をとりまく環境は年々変化し、多様化しています。MICRO CADAM も様々なインテグレーションの可能性を考慮し、「お客様の設計業務の効率化のためにどのような新しい技術やオペレーティング・システムに対応すべきか?」「お客様にどのようなメリットが生まれるのか?」を常に念頭において、新しい環境に随時対応しています。

各拠点間の連携や取引先との協業ビジネスにおいて強力なツールとなるモバイル端末に注目し、iOS 端末 (iPhone または iPad) 上で稼働する MICRO CADAM のモバイル版ビューワー『MC Helix Mobile Viewer』<sup>\*</sup>を無償でご提供しています。すでにご利用のお客様からは、その有用性において非常に高い評価をいただいています。

こうしたモバイル端末に対応したビューイング・ツールにより、場所に縛られず、よりスピーディーでタイムリーなコミュニケーションの実現を可能にしました。



<sup>\*</sup>『MC Helix Mobile Viewer』は、iOS 端末に格納された図面や、MICRO CADAM Helix Server で管理している MICRO CADAM の図面を呼び出して表示できます。App Store より無償でダウンロードできます。

### Web 経由の専用 QA システムと豊富な FAQ

MCHS サービスでは、日本のものづくりを知っているサポート体制で、お問い合わせ対応やリクエスト対応を行っています。出力環境の変更や OS 対応などの面でも、MCHS サービスへの加入は、お客様にとって心強いサポート・サービスと高く評価されています。

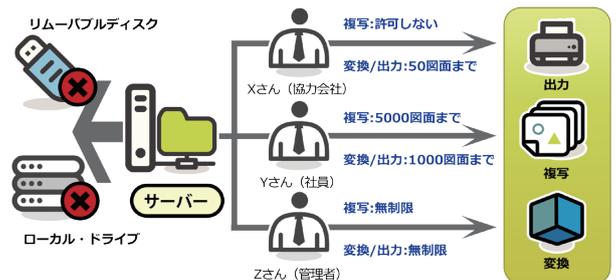
MCHS サービスに加入すれば、専用 Web から機能リクエストすることはもちろん、定期的実施される拡張機能を盛り込んだ最新版のダウンロードや、豊富な FAQ をご覧いただけます。

### 独自のセキュリティ機能を提供

データのやり取りの際に発生するセキュリティー・リスクに備えて「図面流出防止機能」や万一の流出に備える「セキュリティー・コード機能」などで大切な図面資産のセキュリティーを強化できます。セキュリティー対策や管理コスト削減、事業継続計画 (BCP) などを視野に入れたプライベート・クラウドでの運用にも対応できます。

#### ● 不用意な流出を防止する (図面流出防止機能)

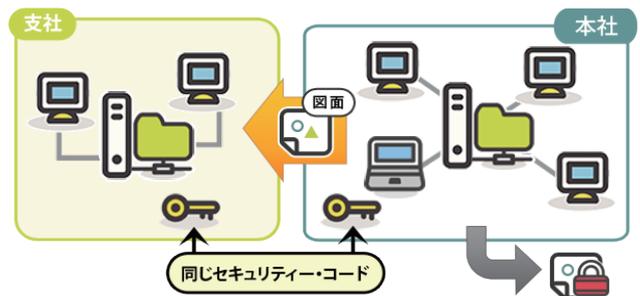
図面の流出を防止するため、利用できる資源を抑制する機能です。これまでもプリビレッジ機能によって、ユーザー ID ごとに図面への不正アクセスを防止できましたが、さらに機能を強化し、盗難や過失による大量の図面資産の流出を未然に防ぎます。



ローカル・ドライブやリムーバブルディスクなどの外部媒体への図面保存を禁止したり、複製、変換、出力するとき、利用者ごとに一度に扱える図面の数を制限したりできます。

#### ● 万一の流出に備える (セキュリティー・コード機能)

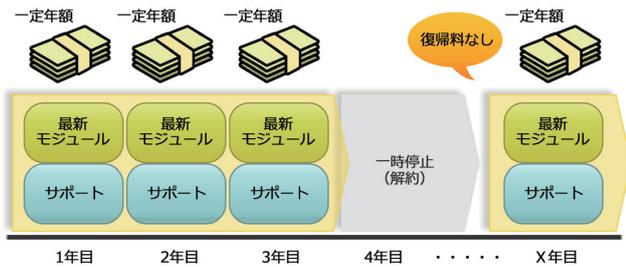
図面に暗号化されたコードを埋め込むことによって、不正アクセスやデータの改ざんを防ぐ機能です。この暗号化されたコードを「セキュリティー・コード」といいます。従来のパスワード機能に類似していますが、一般利用者が各自で設定する図面のパスワードとは異なり、セキュリティー・コードは運用管理者のみが認知するよう運用することによって、より強固なセキュリティー環境が構築できます。



同じセキュリティーを持つ環境下では、利用者がセキュリティー・コードを意識せず、図面のやりとりができます。同じセキュリティー・コードを持たない環境では、セキュリティー・コードの入力を要求され、万一図面が流出した場合も図面の機密性が保たれます。

## 低価格の年額料金で最新機能を提供

製品のバージョン・アップごとにパッケージ・ライセンスを購入しなおす必要がなく、常に最新のライセンスを利用することができます。年単位の契約ですので、ライセンスの稼働状況によってはご利用を一時休止または再開することもでき、再開時の復帰料もかからないため、お客様の CAD の使用状況に合わせた柔軟なライセンス運用が可能です。



常に一定額の年額使用料。

途中解約し再契約でもペナルティはありません。再契約は自由です。

MICRO CADAM Helix を新規ご購入の場合、初年度に初期料金 (PLC) が掛かります。2 年目以降は年額料金 (ALC) のみのお支払いで、MCHS サービスと同等のサービスをお受けいただけます。詳しくは弊社ホームページで。

## 古いバージョンでも追加料金なしでスタート

過去に MICRO CADAM のパッケージ・ライセンスをご購入いただいていた場合は、新規バージョンのパッケージ・ライセンスを再度ご購入いただくことなく、「MCHS サービス」のご契約のみでお手持ちの MICRO CADAM 製品をより進化させることができます。

MCHS サービスでは、設計環境の変化によって発生する新しいオペレーティング・システムにも対応していますので、定期的に反映される機能改善や新しい便利な機能をお使いいただきながら、旧製品で作成された貴重な図面資産を活用できます。

## MICRO CADAM TIKI に申し込んで最新の MICRO CADAM お試し版を手に入れよう

『MICRO CADAM TIKI (Try It, Know It)』は、MICRO CADAM を実際にお試しいただき、MICRO CADAM の良さを実感していただくための、無料お試しサービスです。MICRO CADAM TIKI にお申し込みいただくと、MICRO CADAM の最新情報を満載したメールマガジンをお届けいたします。

また、MICRO CADAM 初心者に向けて、いつでも好きな時間に学習していただける教材や、お試し版モジュールなどを簡単なアンケートにお答えいただくだけで無料で入手できます。

**お申し込みは、下記の URL から！**

[www.cad-solutions.co.jp/micro-cadam-helix/try-mctiki/](http://www.cad-solutions.co.jp/micro-cadam-helix/try-mctiki/)

※ 右の QR コードを読み込んでアクセスできます。



## For more information

MICRO CADAM カスタマーセンター

[mccc@cad-solutions.co.jp](mailto:mccc@cad-solutions.co.jp)

MICRO CADAM Helix YouTube

[www.youtube.com/user/MICROCADAMHelix](http://www.youtube.com/user/MICROCADAMHelix)

MICRO CADAM Helix Facebook

[www.facebook.com/MICROCADAMHelix](http://www.facebook.com/MICROCADAMHelix)

MICRO CADAM Helix Twitter

[twitter.com/MicroCADAMHelix](https://twitter.com/MicroCADAMHelix)



株式会社 CAD SOLUTIONS

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 4-3 国際箱崎ビル 8F

URL: [www.cad-solutions.co.jp](http://www.cad-solutions.co.jp)

© Copyright CAD SOLUTIONS Inc. 2018 All rights reserved.

10-18 Printed in Japan

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社 CAD SOLUTIONS の商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

このパンフレットに掲載されている情報は、2018 年 10 月時点のものです。

製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくは弊社ビジネス・パートナーの営業担当にご相談ください。